

東芝HID安定器安全上のご注意

保管用

このたびは、東芝H I D安定器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの安定器を安全に正しく使っていただくために、この「東芝H I D安定器安全上のご注意」をよくお読みください。

お客様へ

この安定器の取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は、法で禁じられております。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この「東芝H I D安定器安全上のご注意」は必ずお客様にお渡しください。

「東芝H I D安定器安全上のご注意」には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

安全上の注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、“使用者が死亡又は重傷を負う可能性のあること”を示します。



• 安定器の二次側を器具に接続しないままで放置しないで下さい。施工途中でやむを得ず二次側を結線しない場合、電線を切断したままで、一括して絶縁処理をしないで、電線を1本1本に分けて確実に絶縁処理をしてください。一括して絶縁処理をしますと電線切断面で放電が起こり、電線が焼損し火災の原因となります。



• 管灯回路内に中間ジョイントとして、コンセント等の接続器を使用しないでください。高周波電圧や、高圧パルスによる絶縁破壊により火災の原因となります。



• 安定器の構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。故障の原因となるばかりでなく、感電、発煙、発火等危険を生じる原因となります。



• 屋外、又は雨水のかかるおそれのある場所では、雨水等が浸入しないよう安定器口出線を下に向けて取付けてください。また、積雪や雨水の跳ね返り等で、口出線のところより水気が入り込まないように、取付高さ等に十分気をつけてください。雨水等が浸入すると絶縁が低下し、漏電、感電等の原因となります。



• 電線を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、接続部の焼損や火災等の原因となります。



• 電線、あるいは絶縁処理部に刃物等による傷を付けないようにしてください。傷が付いた状態で使用されますと、絶縁破壊により漏電、感電、火災等の原因となります。



• 振動や衝撃のある場所で使用する場合は、金属疲労やネジの緩みによる落下を防止する対策を施してください。対策を施さないで使用すると、落下による怪我の原因となります。



• 安定器の二次側には、高電圧を発生しているものがありますので、活線作業、及び電源を入れたままランプ交換をしないでください。活線作業、及び電源を入れたままランプ交換をしますと感電等の原因となります。

安全上の注意



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生が想定されること」を示します。

- 安定器には接地工事が必要です。入力又は出力電圧が、150 Vを超え300 V以下の場合は第三種接地工事を、300 Vを超え600 V以下のものには特別第三種接地工事を「電気設備技術基準」に準じて施工してください。接地工事をしないと感電の原因となることがあります。
- 結線は安定器に表示してある接続図通りに行ってください。間違えて接続されますと、不点灯、安定器の焼損、ランプの破損等の原因となることがあります。
- 口出線を持って安定器を運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱等事故の原因となることがあります。
- 紙や布などを、安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。安定器の温度が高くなり、保護機能が動作したり、紙や布が焦げて火災の原因となります。
- 標準使用条件で、8～10年経過した安定器は、絶縁性能が低下しておりますので、使用しないでください。そのまま使用しますと絶縁劣化が進行し、異常過熱、焼損、発煙、発火等の原因となることがあります。安定器の交換をお奨めします。

ご使用上の注意

- 安定器は、設置場所の電源電圧・周波数を確認してから、お取付けください。
 - 電源電圧は、定電力形は±10%、その他のものは±6%の変動範囲でご使用ください。電源電圧が高すぎますと、ランプ・安定器の寿命が短くなります。また、低すぎますとランプのチラツキ、不点灯あるいは立ち消え等の不良をまねきます。ランプの性能を活かすために、定格電圧でご使用ください。
 - 電源周波数50Hz用と60Hz用があります。電源周波数と同じ周波数の安定器をご使用ください。間違えて使用しますと、ランプ寿命が短くなったり、安定器が短寿命となったり故障することがあります。
- 安定器周囲温度は、-10℃～40℃の範囲でご使用ください。

周囲温度が高い場合や、他の熱源から影響を受ける場合などには、安定器が短寿命となったり、内蔵している保護機能が動作したりしますので、安定器の周囲温度は40℃以下でご使用ください。また、周囲温度が-10℃以下でも、同様に安定器短寿命のおそれがありますので、次の事項を守ってください。

 - 安定器を2台以上並べて設置する場合には、相互の熱の影響を受けますので10cm以上間隔をあけて通風に注意してください。
 - 安定器を箱の中に収納する場合には、容積を十分大きくとり、かつ換気をして安定器が過熱しないよう注意してください。
 - 安定器を光源の上部等に取付ける場合には、光源の熱影響を受けますので、熱遮蔽の仕切をするのと共に、十分な間隔をとってください。
 - 狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、強制換気などをおこなって、安定器が過熱しないようご注意ください。
- 安定器に「イグナイタ内蔵器具をご使用ください。」と表示してある場合、必ずイグナイタ内蔵器具と組合わせてご使用ください。その他の器具と組合わせた場合、ランプが始動しません。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは安定器の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社

照明電材事業部 〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル) TEL (03) 5463-8767

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

003-HID 1